

第4章 ICT活用と学力向上の関係のモデル化

これまでの分析結果から、ICT活用と学力向上の関係について考察し、モデル化を試みる。

普通教室のICT環境整備はその歴史も浅く、平成20年度においても未だ整備が整っておらず、活用の日常化も実現していない。ICT機器の整備以前には、一斉指導場面での拡大提示による情報の可視化は、掛図から拡大コピーの活用（第1段階）へと移行し（表4-1）、その後、徐々にプロジェクタや大型ディスプレイによる提示（第2段階）へと転換しつつある。提示するコンテンツは、実物投影機による教科書や子どものノート、資料集などが初期の段階では多く、訪問調査の結果から、インターネット上のデジタルコンテンツだけでは、日常的な活用には至らないと考えられる。したがって、第2段階におけるICT環境整備のポイントは、日常的な活用が可能となる各教室へのICT機器の設置と、特に実物投影機の整備ということになる。

表4-1 ICT活用と学力向上の関係の進展

段階	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
特徴	原体験	試行・体験	応用・発展	成熟
ハード				電子黒板
				LAN
			コンピュータ	コンピュータ
		プロジェクタ(大型ディスプレイ)	プロジェクタ(大型ディスプレイ)	プロジェクタ(大型ディスプレイ)
		実物投影機	実物投影機	実物投影機
	拡大コピー機	拡大コピー機	拡大コピー機	拡大コピー機
コンテンツ		(教科書準拠コンテンツ)	デジタルコンテンツ (教科書準拠コンテンツを含む)	デジタルコンテンツ (教科書準拠コンテンツを含む)
		実物	実物	実物
		資料集	資料集	資料集
	子どものノート等 教科書	子どものノート等 教科書	子どものノート等 教科書	子どものノート等 教科書
授業形態				個別学習
	一斉指導	一斉指導	一斉指導	一斉指導
ICT活用のねらい				情報活用能力の育成
				個別の問題解決
			集団思考の成立	集団思考の成立
	学習意欲の喚起	学習意欲の喚起	学習意欲の喚起	学習意欲の喚起

ただし、使いやすい教科書準拠コンテンツの整備によって、日常的な活用が実現する場合もある。第2段階から第3段階への移行は、実物投影機と教科書準拠コンテンツを含むデジタルコンテンツの併用によって実現すると考えられる。

ICT活用による学力向上は、日常的な拡大提示による情報の可視化による効果が大きく、学習意欲の喚起は一定レベル生じると考えられる。この効果を学力向上に十分に活かせるかどうかは、教師の授業力量に依存しており、第3段階での活用が定着することによって、初めて明確な因果関係が認められるようになると推測される。第4段階になると、ICT活用がさらに多様化し、学力への影響もさらに広範囲なものになるだろう。

今後、ICT活用の日常化を実現し、学力向上を実現するためには、より多くの学校が第2段階におけるICT活用を実現する必要がある。そこで、第2段階のICT活用と学力向上の関係モデルを図4-1に示す。

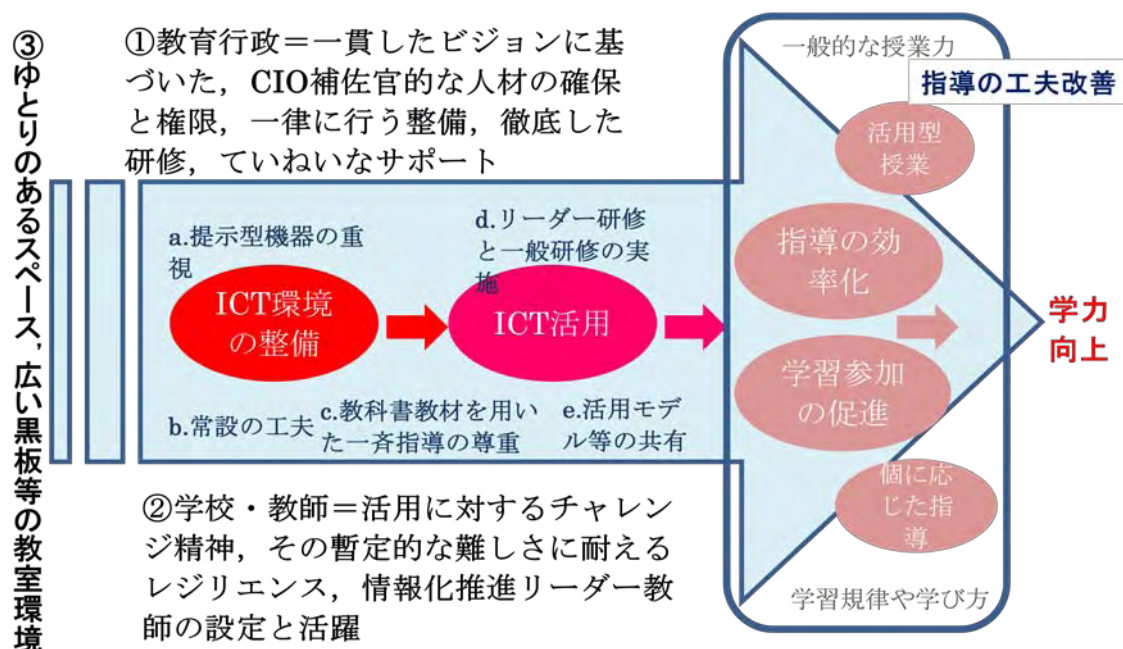


図4-1 第2段階のICT活用と学力向上の関係モデル

普通教室のICT環境整備のポイントは、「a. 提示型機器の重視」と「b. 常設の工夫」の2点である。特に子どもの人数が多い教室では、後方の座席からでも確実に見えるような拡大提示を実現することが不可欠である。日常的な活用のために設置、配線、調整等の手間を省く工夫も欠かすことはできない。訪問調査の結果、少人数の教室では、ICT機器を設置するためのスペースに余裕があり、机の配置とともにICT環境を構成することが可能となっていた。また、日常的な授業スタイルである一斉指導場面では、拡大提示は板書に置き換わるわけではなく、併用されることから、黒板上への提示が多く行わ

れており、板書スペースの確保も重要な要件となる。こうした教室全体の ICT 機器を含む環境構成を再検討することが重要である。

同時に学校へのコンピュータ導入当初のコンピュータ教室での子どもの ICT 活用から、普通教室で日常的に行われている教科指導の場面での ICT 活用を定着させる必要がある。これは ICT 活用のために授業スタイルを変更するのではなく、「c. 教科書教材を用いた一斉指導の尊重」し、従来の授業スタイルに ICT 活用を組み込んでいくということである。したがって、実物投影機による教科書や子どものノート、資料集の提示、教科書準拠コンテンツ等の活用が基本となるのである。

なお、こうした ICT 環境整備は、市町村教育委員会の役割であり、教育 CIO 及び CIO 補佐官が明確な教育の情報化のビジョンのもとに進めていくことになる。整備は ICT 活用の前提となっており、ここでの意思決定は地域の学校全体の情報化に影響を及ぼしていることに留意する必要がある。地域間格差、学校間格差の問題の根はここにあると言えるだろう。

ICT 活用の普及定着においても、行政の果たす役割は大きい。各学校で情報化の推進を担うリーダーの育成や ICT 支援員の配置等によるサポートは情報化を進める上で重要である。学校内の普及は、研修というフォーマルな形態に加え、情報化推進リーダーのインフォーマルなサポートや教員同士が ICT 活用のノウハウを積極的に共有する雰囲気等が影響している。機器の整備と同時に活用のイメージを共有することが、その後の活用の定着には欠かせないのである。

授業の中で ICT を活用するには、一定レベルの機器の操作スキルに加え、板書や発問と同様の提示スキルも必要となる。初期の段階では、授業に新しい要素が加わるわけであるから、一時的には戸惑いが生じ、指導の効率が低下することも少なくない。したがって、教師のチャレンジ精神やそれらの困難を乗り越え、うまく授業に取り込む適応力（レジリエンス）も必要である。情報化推進リーダーや教員相互のサポートがこうした困難を低減させるのである。

ICT 活用の効果は、学力調査の結果等で把握することは少なく、教師が子どもたちの学習意欲の向上等、実際の反応から実感しているケースが多い。教師へのインタビューでは、その効果のとらえ方は様々であったが、全員が効果があるとコメントしている。

拡大提示による情報の可視化は、学習内容をわかりやすくし、学習への参加を促進すると同時に、主に基礎基本の定着場面において、指導の効率化が図れると考えられる。ICT 活用による学力向上は、こうしたベーシックな部分で生じており、その結果、活用頻度が高くなると、正答率が若干高くなるという結果をもたらしているというのが現状であろう。

先に述べたように、ICT 活用による学力向上は、ICT 活用が日常の授業に埋め込まれ、教師の ICT 活用指導力の向上によって、さらに実現の度合いを高めていくことになると思われる。

前年度（平成 20 年度）5 年生の ICT 活用状況調査

-お願い-

1. このアンケート調査は、教科指導における ICT 活用と学力との関連について、分析するためのものです。
2. 学校全体としての全国的な傾向を探ることを目的としており、学校や学級個別の評価を目的としたものではありません。ありのままにご回答ください。
3. アンケートの回答は、前年度（平成 20 年度，2008 年度）に 5 年生の学級を担当された先生と情報教育を主に担当されている先生（情報主任等）とが協議の上、ご回答をお願いいたします。
4. 前年度に 5 年生の学級を担当された先生が転任等で不在の場合には、情報教育を主に担当されている先生（情報主任等）にご回答をお願いいたします。
5. ご回答内容は統計的に処理し、調査研究以外の目的には利用しません。また結果の発表にあたっては、地域や学校、個人が特定されないよう配慮し、学校や先生方にご迷惑をおかけすることは決してございません。
6. アンケートは学校ごとにとりまとめの上、2009 年 12 月 4 日（金）までに投函していただきますようお願いいたします。

「教科指導における ICT 活用と学力・学習状況の関係に関する」調査研究委員会

野中 陽一（研究代表・横浜国立大学教育人間科学部 准教授）
福田 幸男（横浜国立大学教育人間科学部 教授）
大島 聡（横浜国立大学教育人間科学部 教授）
木原 俊行（大阪教育大学 教授）
堀田 龍也（玉川大学学術研究所 准教授）
高橋 純（富山大学発達人間科学部 准教授）
井上 裕光（千葉県立保健医療大学 准教授）
豊田 充崇（和歌山大学教育学部 准教授）

1. 普通教室のICT機器の設置状況

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の普通教室において、授業で活用した ICT 機器の設置状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	教室に常備しており、接続等が不要	教室に常備しているが、接続等が必要	学年等で共有している機器を教室に運んで利用	ICT 機器が設置され、接続等が不要な教室に児童が移動して利用	利用できなかった				
① プロジェクタ・・・・・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
② 40 インチ以上の大型テレビ（ブラウン管，液晶等すべての型を含む）・・・・・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
③ 40 インチ未満のテレビ（ブラウン管，液晶等すべての型を含む）・・・・・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
④ 電子黒板（ユニット型，ボード型，ディスプレイ一体型等すべて含む）・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
⑤ スクリーン（吊り下げ式）・・・・・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
⑥ スクリーン（黒板貼付型，自立型）・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
⑦ 実物投影機（書画カメラ，OHC）・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
⑧ コンピュータ・・・・・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1
⑨ デジタルカメラ・・・・・・・・	5	-	4	-	3	-	2	-	1

2. 普通教室の I C T 機器の活用頻度

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の普通教室において，当該の学級担任や児童が授業で活用した I C T 機器の活用頻度について，あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

ほぼ毎日	週 1 回以上	月 1 回以上	ほとんどまたは，全く活用しなかった
------	---------	---------	-------------------

① プロジェクタ・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
② 40 インチ以上の大型テレビ （ブラウン管，液晶等すべての型を含む）・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
③ 40 インチ未満のテレビ（ブラウン管，液晶等すべての型を含む）・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
④ 電子黒板（ユニット型，ボード型，ディスプレイ一体型等すべて含む）・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑤ スクリーン （吊り下げ式）・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑥ スクリーン （黒板貼付型，自立型）・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑦ 実物投影機 （書画カメラ，OHC）・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑧ コンピュータ・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑨ デジタルカメラ・・・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑩ 校内 LAN・インターネット・・・	4	-	3	-	2	-	1

3. 活用したデジタル教材について

(1)国語の授業で活用したデジタル教材について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の国語の授業がおこなわれた教室等で活用したデジタル教材の活用頻度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間	週1回 以上	月1回 以上	ほとんどま たは、全く活 用しなかつた			
① 教科書，実物，子どものノート等 （実物投影機で投影）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 教科書準拠デジタル教材（デジ タル教科書，指導書付属教材等）・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ ②以外のインターネット上のデジ タル教材・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 自作デジタル教材・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ その他 （ ）	4	—	3	—	2	—	1

(2)算数の授業で活用したデジタル教材について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の算数の授業がおこなわれた教室等で活用したデジタル教材の活用頻度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間	週1回 以上	月1回 以上	ほとんどま たは、全く活 用しなかつた			
① 教科書，実物，子どものノート等 （実物投影機で投影）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 教科書準拠デジタル教材（デジ タル教科書，指導書付属教材等）・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ ②以外のインターネット上のデジ タル教材・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 自作デジタル教材・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ その他 （ ）	4	—	3	—	2	—	1

(3)理科の授業で活用したデジタル教材について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の理科の授業がおこなわれた教室等で活用したデジタル教材の活用頻度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間		週 1 回 以上		月 1 回 以上		ほとんどまた は、全く活用 しなかった
① 教科書，実物，子どものノート等 （実物投影機で投影）・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
② 教科書準拠デジタル教材（デジ タル教科書，指導書付属教材等）・・・	4	-	3	-	2	-	1
③ ②以外のインターネット上のデジ タル教材・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
④ 自作デジタル教材・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑤ その他 （ ）	4	-	3	-	2	-	1

(4)社会の授業で活用したデジタル教材について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の社会の授業がおこなわれた教室等で活用したデジタル教材の活用頻度について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間		週 1 回 以上		月 1 回 以上		ほとんどまた は、全く活用 しなかった
① 教科書，実物，子どものノート等 （実物投影機で投影）・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
② 教科書準拠デジタル教材（デジ タル教科書，指導書付属教材等）・・・	4	-	3	-	2	-	1
③ ②以外のインターネット上のデジ タル教材・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
④ 自作デジタル教材・・・・・・・・	4	-	3	-	2	-	1
⑤ その他 （ ）	4	-	3	-	2	-	1

4. 児童によるICT活用の状況について

(1)国語の授業でのICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の国語の授業において，発表や自分の考えを整理する際に，児童が以下のICTを活用した頻度について，あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間	週1回 以上	月1回 以上	ほとんどま たは、全く活 用しなかつた			
① コンピュータ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 実物投影機（書画カメラ， OHC）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ デジタルカメラ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 電子黒板・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ インターネット・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑥ その他（ ）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1

(2)算数の授業でのICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の算数の授業において，発表や自分の考えを整理する際に，児童が以下のICTを活用した頻度について，あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間	週1回 以上	月1回 以上	ほとんどま たは、全く活 用しなかつた			
① コンピュータ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 実物投影機（書画カメラ， OHC）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ デジタルカメラ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 電子黒板・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ インターネット・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑥ その他（ ）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1

(3)理科の授業でのICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の理科の授業において，発表や自分の考えを整理する際に，児童が以下の ICT を活用した頻度について，あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間	週 1 回 以上	月 1 回 以上	ほとんどまた は，全く活用 しなかった			
① コンピュータ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 実物投影機（書画カメラ， OHC）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ デジタルカメラ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 電子黒板・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ インターネット・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑥ その他（ ）	4	—	3	—	2	—	1

(4)社会の授業でのICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の社会の授業において，発表や自分の考えを整理する際に，児童が以下の ICT を活用した頻度について，あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	ほぼ 毎時間	週 1 回 以上	月 1 回 以上	ほとんどまた は，全く活用 しなかった			
① コンピュータ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 実物投影機（書画カメラ， OHC）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ デジタルカメラ・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 電子黒板・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ インターネット・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑥ その他（ ）	4	—	3	—	2	—	1

5. 領域別のICT活用の状況について

(1)国語における領域別のICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の国語の授業において，以下の領域で ICT をどの程度活用しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	よく行った	どちらかといえ ば行った	あまり行わな かった	まったく行わ なかった
① 話すこと・聞くこと	4	3	2	1
② 書くこと	4	3	2	1
③ 読むこと	4	3	2	1
④ 言語事項	4	3	2	1

(2)算数における領域別のICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の算数の授業において，以下の領域で ICT をどの程度活用しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	よく行った	どちらかといえ ば行った	あまり行わな かった	まったく行わ なかった
① 数と計算	4	3	2	1
② 量と測定	4	3	2	1
③ 図形	4	3	2	1
④ 数量関係	4	3	2	1

6. 授業場面別のICT活用の状況について

(1)国語における授業場面別のICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の国語の授業において，以下の場面で ICT をどの程度活用しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	よく行った	どちらかといえ ば行った	あまり行わな かった	まったく行わ なかった			
① 授業の導入部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 授業の展開部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ 授業のまとめ部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 学習の定着部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ その他（ ）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1

(2)算数における場面別のICT活用状況について

前年度（平成 20 年度，2008 年度）の 5 年生の算数の授業において，以下の場面で ICT をどの程度活用しましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	よく行った	どちらかといえ ば行った	あまり行わな かった	まったく行わ なかった			
① 授業の導入部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
② 授業の展開部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
③ 授業のまとめ部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
④ 学習の定着部分・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1
⑤ その他（ ）・・・・・・・・	4	—	3	—	2	—	1

7. 場面、目的別の ICT 活用の状況について

国語、算数の指導のために、以下の場面、目的で、ICTをどの程度活用しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 国語の指導のための ICT 活用状況について

a.教材研究・指導の準備・評価など

よく行った	どちらかといえは行った	あまり行わなかった	まったく行わなかった
-------	-------------	-----------	------------

- | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 教育効果をあげるには、どの場面にどのようにしてコンピュータやインターネットなどを利用すればよいかを計画する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ② 授業で使う教材や資料などを集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ③ 授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ④ 評価を充実させるために、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して児童の作品・学習状況・成績などを管理し集計する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

b.授業における教員のICT活用による指導

よく行った	どちらかといえは行った	あまり行わなかった	まったく行わなかった
-------	-------------	-----------	------------

- | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 学習に対する児童の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ② 児童一人一人に課題を明確につかませるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ③ わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ④ 学習内容をまとめる際に児童の知識の定着を図るために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などをわかりやすく提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

c.授業における児童の ICT 活用の指導

	よく行った	どちらかといえ ば行った	あまり行わ なかった	まったく行 わなかった
① 児童がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する・・・・・・・・	4	3	2	1
② 児童が自分の考えをワープロソフト等で文章にまとめたり、調べたことを表や図などにまとめたりすることを指導する・・・・・・・・	4	3	2	1
③ 児童がコンピュータや提示装置などを活用して、わかりやすく発表したり表現したりできるように指導する・・・・・・・・	4	3	2	1
④ 児童が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する・・・・・・・・	4	3	2	1

(2) 算数における ICT 活用状況について

a.教材研究・指導の準備・評価など

	よく行った	どちらかといえ ば行った	あまり行わ なかった	まったく行 わなかった
① 教育効果をあげるには、どの場面にどのようにしてコンピュータやインターネットなどを利用すればよいかを計画する・・・・・・・・	4	3	2	1
② 授業で使う教材や資料などを集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する・・・・	4	3	2	1
③ 授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する・・・・・・・・	4	3	2	1
④ 評価を充実させるために、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して児童の作品・学習状況・成績などを管理し集計する・・・・・・・・	4	3	2	1

b. 授業における教員のICT活用による指導

よく行った	どちらかといえは行った	あまり行わなかった	まったく行わなかった
-------	-------------	-----------	------------

- | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 学習に対する児童の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ② 児童一人一人に課題を明確につかませるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ③ わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ④ 学習内容をまとめる際に児童の知識の定着を図るために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などをわかりやすく提示する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

c. 授業における児童のICT活用の指導

よく行った	どちらかといえは行った	あまり行わなかった	まったく行わなかった
-------	-------------	-----------	------------

- | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 児童がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ② 児童が表計算ソフト等で資料などの情報を分類整理したり、表や図などに表現したりすることを指導する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ③ 児童がコンピュータや提示装置などを活用して、わかりやすく発表したり表現したりできるように指導する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| ④ 児童が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する・・・・・・・・ | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

質問はこれで終わりです。長時間ご協力いただきまして、ありがとうございました。
 回答済みの調査用紙は、学校でとりまとめ、返信用封筒に入れて、12月4日(金)までに、ご返送ください。

学校の情報化の状況調査

以下の質問は、学校全体の情報化の状況と学力との関連を分析するためのものです。学校全体としての全国的な傾向を探ることを目的としており、学校個別の評価を目的としたものではありません。ありのままにご回答ください。

管理職・情報主任の方にご回答をお願いいたします

1. 学校に関する情報について

() 内に学校名、学級数をお書きください。

1) 学校名 () 市立・区立 () 小学校

2) 平成 20 年度 (2008 年度) の 5 年生の学級数 () 学級

複式学級に 該当する ・ 該当しない (どちらかに○をつけてください)

2. 学校全体の情報化の状況について

前年度 (平成 20 年度, 2008 年度) における学校全体の情報化の状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	学校全体でよく取り組んでいた	どちらかといえば取り組んでいた	あまり取り組んでいなかった	全く取り組んでいなかった
① 教員が教科の指導において ICT を活用しましたか	4	3	2	1
② 児童が教科の学習において ICT を活用しましたか	4	3	2	1
③ 児童に対して、情報モラルを指導しましたか	4	3	2	1
④ 校務処理システムや情報共有システムを活用しましたか	4	3	2	1
⑤ ICT の機器操作に関する研修を実施しましたか	4	3	2	1
⑥ ICT の授業での活用に関する研修を実施しましたか	4	3	2	1
⑦ ICT 活用に関する授業研究を実施しましたか	4	3	2	1
⑧ ICT 活用に関する、教員向けの手引や事例集等を用意 (活用) しましたか	4	3	2	1
⑨ ICT 活用をサポートする ICT 支援員等を活用しましたか	4	3	2	1

※学校の情報化の状況調査についてのアンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。